2020–21年シーズン シクロクロス大会開催に向けて

2020/07/30
公益財団法人 日本自転車競技連盟
シクロクロス小委員会

国内の自転車大会が各地で再開の方向にあり、秋に開幕を控えたシクロクロス競技においても、新型コロナウイルス感染拡大の再発防止対策を運営計画の基準に据えることが不可欠です。JCF日本自転車競技連盟の発表「緊急事態宣言解除後の大会開催に向けたガイドラインについて(6/26版)」に基づき、以下に国内シクロクロス大会の開催と準備についての目安を提示いたします。
主催、競技選手の皆さまにおかれましても、各団体・地域の方針とともに、ご対応とご協力をお願いいたします。

◇シクロクロス競技開催に関する留意点

1.会場運営について
・SNS／WEBサイト等を利用し、オンラインでスタートリスト・リザルトを発表する。
（避けられない提示物は、提示場所での密集をさけるため大きい文字で出力する）
・受付時間をカテゴリごと設定し、受付に選手が集中することを避ける。足元に印をつけ、列をつくる際に距離を保てるように誘導する。可能であれば、受付を大会前日に行う。
・入口と出口をわけた一方通行をつくり、スムースな受付運用をする。

2.コース設定について
・より長いコースを使い、周回遅れになる前に十分な時間的余裕をもたせる。
・スタート後の直線は特に広く設定する。
・フィニッシュ後、80%プルアウト後に選手が滞留しない会場レイアウトにする。

3.競技運営について
（1）スタート前
・スタートエリアでは、速い選手が前方から、遅い選手が後方からただしくスタートするよう、リスト作成に特に留意する。
・スタートエリアでは選手の間に十分な距離をあける。
・招集を待つ時間の密を避けるため、スタートエリアへの集合時間を細かく設定する。
（2）ピット
・レイアウトを広く保ち、関係者以外の立ち入りを制限する。入口で手指の消毒を行う。
・ピットエリア内ではマスクあるいはフェイスシールド等を着用する。
（3）フィニッシュ（80%プルアウト）後
・選手が留まらないよう誘導する。

以下、繰り返しとなる点もございますが、JCFの提示する対策方針より抜粋します。
全文についてもリンク先よりご確認ください。
緊急事態宣言解除後の大会開催に向けたガイドラインについて（6月26日時点）

コロナウイルス感染症対応マニュアルの設置

● 自己判断・体調不良による欠場に制裁を課さない等、未出走管理を弾力的に行う。
● 感染者が発覚した場合、個人情報保護に留意し情報開示について整備する。
● 大会役員（審判等）が感染した場合の対応を明示する。
● 落車発生時の救助マニュアル、コロナウイルス感染症防止を念頭に整備する。また救急搬送に関して医療関係者、消防と充分協議しておく。
● ゴミの取り扱い。

地域諸機関の確認

開催地地域医療機関及び保健所（帰国者・接触者相談センター含む）と地域消防の受け入れ態勢の（落車による傷病、熱中症、コロナウイルス感染を想定）の事前確認を行い、承諾を得る事。

受付等の留意事項

● 受付の際には、参加者にもマスク着用を要請し、順番待ちの列では間隔を空けるようにする。参加人数によっては、ゼッケン番号やカテゴリーなどによって受付時間を分ける、あるいは順番に呼び出すなどの方法も検討する。
● 動線を一方通行にする等の対策を施し、人と人の接触機会低減を図る。

大会参加者への対応

● 体調の悪い参加者・チームスタッフ・参加者関係者は来場しないように要請する。
● 競技者は競技を行っていない間、特に会話する際のマスク着用を周知する。ただし、熱中症予防の観点から、当日の天候を考慮し、人と人の間隔が十分に取れている場合はマスクを外すことができる。

大会主催者が準備等すべき事項

● 大会スタッフは大会前2週間の行動履歴および検温結果を記録する。
● 大会スタッフの滞在する場所は十分に広く、換気に配慮する。
● ミーティング会場は密にならない配置をする。
● 各所に手指消毒液を配置する。
● 大会スタッフはマスク着用を原則とする。持参しなかった人の為の予備を準備しておく。

参加者が運動・スポーツを行う際の留意点 距離の確保

● ゴミは各自で持ち帰る。特に使用済みマスクや鼻水、唾液が付いたゴミは袋に入れて密封するなど配慮すること。

その他の留意事項

● 募集告知などのウェブサイトを使って急な連絡に対応できるようにする。
　例：参加費払戻方針・延期/中止の場合の流れ・受付・健康チェックリストなど
●ソーシャルメディアまたはウェブサイトを使用したスタートリスト、リザルト提供を行う。結果の疑義については電話やメールで対応する。
●会場では場内アナウンス・webツールなどにより、掲示板に集まることを避けるようにする。
●アワード・セレモニーにおいて密が避けられない状況ではメダルを事後送付するなど、できるだけ密を作らない工夫をする。

◇ 開催可否の判断

開催される都道府県の方針に従うことが大前提であり、判断に迷った際は、開催地や施設が所在する都道府県のスポーツ主管課や衛生部局等へのご相談をお願いします。
また、都道府県知事からの要請等に基づき、感染リスクへの対応が整わない場合は中止又は延期するなど、慎重な対応を取るようお願いいたします。
今回は特に開催地の都道府県のスポーツ主管課や衛生部局等の機関との連携・協議をすることが重要になります。

https://jcf.or.jp/緊急事態宣言解除後大会開催ガイドライン0626/?category=cyclocross

以上